

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

石井里恵子 会長 年度テーマ
= 皆でロータリーを楽しもう! =

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
例会日時 木曜日 12:30
クラブ会報広報委員長 松本 正継



2010-11 年度 R.I. 会長
レイ・クリンギンズミス

創立 1995年3月9日
承認 1995年3月28日
会長 石井里恵子
幹事 森田 正樹
事務局 名古屋市中区栄3-29-1
名古屋クレストンホテル 1007号
TEL 052-263-1324
FAX 052-263-0730
Mail rc.nagoya-marunouchi@waltz.ocn.ne.jp
HP <http://www.nagoya-marunouchi-rc.org/>

第729回 例会No.5 平成 22年7月29日(木) 雨

夏休み家族会 = 伊賀の里 モクモクファーム =

- 出席報告 会員43名中13名出席
- 出席率 30.77% 出席計算人数39名
- 修正出席率 7月15日 95.00%
- ゲスト 会員ご家族、ご友人 14名

第728回 例会No.4 平成 22年7月22日(木) 晴

- ロータリーソング 「手に手つないで」
- 出席報告 会員43名中28名出席
- 出席率 70.00% 出席計算人数40名
- 修正出席率 7月8日 95.00%
- スピーカー 藁谷真行さん、矢野雄嗣さん

家族会の風景



会長挨拶

石井里恵子

本日の会長あいさつは、毎月購読している「致知」の中よりお話をさせていただきます。

『日本よ、甦れ』と題して。

日本の常識は世界の非常識と言われて久しい...
カトリック教会を基盤に、貧しい国の人々に救済の手を30年に余って差し延べている作家の曾野綾子さんと、約40年前、単身旧西ドイツに渡りノンフィクション作家として各国の紛争地帯に足を運び、海外からの視点で日本を見つめ鋭い提言を続けるクラウン孝子さんのお二人が、日本へ込める熱き思いを語っておられる中よりお話をさせていただきます。

今、日本では外国人に参政権を与えるという話が議論されていますが、諸外国では考えられない法案だそうです。もし通れば後々には被選挙権も主張するでしょう。そんな法律が成立したら、隣の中国等から簡単に日本に住み着き、国会議員が選出され、日本の国を思い通りに操る事態が起こりかねないと危惧しています。ドイツに滞在40年で、犯罪歴もなく税金もきちんと納めていても、参政権の付与はノーです。

日本人が優しく甘くひ弱になっているのは、それは戦後の急激な経済成長のせいで、お金が一番大事で、お金があれば何でも出来ると信じ込んでいるせいではないか。ドイツでは、東西ドイツが統一された時東側のお金は0になりました。また、ユーロ切り替えてドイツマルクは半分の価値になりました。そういう苦しい体験から、お金は絶対という貨幣に対する信頼感は希薄です。日本では愛国心と言ってはいいけないが、ドイツでは国旗を掲げたときに立たない事は許されない、考えられない事だそうです。

数年前、曾野さんがアメリカの戦没者墓地に閉園 10分くらい前に到着されたそうです。真っ白い大理石の墓石が綺麗に保たれていて、チリーつ落ちてなく、丁寧に扱われているんだなと感心したそうです。しばらくすると、ハンドベルの様な美しい音楽が流れて続いて国家が流れ、こ

れが閉園の合図らしく、アメリカの国の為に命を落とした人達を、毎日国家を聴かせて靈魂を慰めているんだと、これぞ国のやることだと思われたそうです。日本はなぜ国を守って戦死した人を祀っている靖国神社に参拝をすとかしないとか政治家は言うのでしょうか？アメリカのアーリントン墓地で献花するのは何故でしょう。中国の顔色を伺っているのでしょうか。そんな風に周囲の人の顔色を伺って卑屈になるから、諸外国にバカにされ、なめられるのではないかとおっしゃっています。今、日本の山やリゾート地が次々と中国人に買われ、北海道には中国人用の別荘地があるそうです。曾野さんが住んだ事のあるシンガポールでは、外国人に対して家やマンションは売りますが土地は売らない、何年まで住めるという期限付きだそうです。外国の法律はその国を守っているのです。日本もしっかりして欲しい。

日本の政治家のレベルの低下について。
たとえ有能な若い政治家が出てきても、自分の地位を脅かすのではと、力がないうちに古参が全部つぶしてしまう。それを64年も続けてきたためでしょう。

ドイツでは優秀な人物を発見した時点で、若くても思い切って引き上げ才能を伸ばす。目下ドイツの首相として活躍しているメルケルさんは30歳そこそこで大臣に抜擢され、東独出身で物理学者で経験など全くなく右も左もわからない彼女を、先輩の政治家が皆で育成したのだそうです。

教育も小学4年で、『ものづくり』、『中間層』、『エリート』と3つに分け、3つの層で社会が成り立っているのです。上のリーダー格の人には相応の教育を受けさせているので、必然的に政治もしっかりしてきます。日本の教育は母国語の教育から始めるべきではないか。読み書き話の3つがきちんと出来る事。今はそれが全く出来ていない。曾野さんは、今、日本郵便の役員をされているのですが、本を読まず字がかけない人間が多くなっているので、将来的に郵便が増える見込みがないと思われるのに、現場はそれが全然判っていないとおっしゃっています。
皆様は日本の将来を今のままで良いとお考えでしょうか。なんとかしなければとお考えでしょうか。

7月22日 ニコBOX	
石井会長	暑中お見舞い申し上げます。猛暑日が続いて大変ですが、水分と塩分を適度に取り体をおいしく頂きこの夏を乗り切りましょう。
松本さん	皆様、暑中お見舞い申し上げます。暑い日が続きますが、体調管理に気をつけて頑張りましょう。
磯部さん	人に会うたびに暑い暑いと言っています。
矢野雄嗣さん	暑い日が続きます。体をこわさないように頑張ります。皆様もご自愛下さいませ。
● 本日は新入卓話です。藁谷真行さん、矢野雄嗣さん、宜しく願い致します。 森田幹事、吉田、堀田、和田、藤野、加藤満男、若原、渡邊、安江、西川、岩田、後藤、水野(敬称略)	
長谷川さん	今月は私の誕生月です。お祝いを有難うございます！
藤田さん	久しぶりに例会に出席します。
本日合計 41,000円	

新入会員卓話「自己紹介」



藁谷真行さん



矢野雄嗣さん

ハイライトよねやま(7月12日発行 抜粋)

4. 中国青海省地震の被災学友からメッセージ

米山学友の宋仁徳さん(2002-03 / 西都RC)は宮崎大学留学後、中国に戻り、青海省玉樹チベット自治州畜牧獣医センター所長として、ヤクの生産利用についての研究にあたっています。奨学期間後もロータリーとの交流を続け、2008年11月にはホームカミング制度での招聘を受け、第2730地区の地区大会にも参加しました。今年の4月14日、宋さんの住む青海省玉樹県を震源とする大地震が発生。死者・行方不明者約2,700人、民家倒壊1万5,000軒にも及ぶ甚大な被害がありました。世話クラブの西都RCを通じて宋さんの無事は確認できたものの、メールでの連絡は取れませんでした。6月1日、ようやくインターネットに接続できるようになったと、宋さんからのメールが米山記念奨学会に届きました。それは、地震の恐ろしさを物語るとともに、口蹄疫で揺れる第2の故郷、宮崎への心情あふれるメッセージでした。

「今、振り返っても4月14日は怖かったです。山からの異様な音を耳にし、「地震だ、外に逃げろ」と叫んで妻と一緒に外に出た途端家が崩れました。壁にぶつかったものの私たちは軽い怪我で済みましたが、同じ棟の住人7人が生き埋めになりました。素手で一生懸命に掘り起こしましたが、助け出せたのは1人だけで、とても悲しかったです。4日間は被害調査や同僚の捜索、救援物資の仕分けや配布でほとんど眠る間もなく、5日目からは疫病の流行を防ぐために、85人の救急獣医救援隊とともに、4万頭を超えるヤクや羊、馬などの死骸処理と、ワクチン接種、32万平方メートルの消毒を行いました。口蹄疫で「非常事態宣言」の出た宮崎のニュースを新聞やテレビで目にし、本当に心が痛みます。動物の命を助ける獣医が動物を殺さなくてはならない、畜産農家の方々も一頭一頭名前をつけて大切に育ててきた牛を目の前で殺される。本当に気の毒でたまりません。玉樹の街が一日も早く復興するように、また宮崎の口蹄疫も一日も早く終息しますように、祈っています」

例会のご案内

8月 5日(木) 第730回例会 「ガバナー補佐訪問」

8月12日(木) 休会

8月19日(木) 第731回例会 例会変更

「ビアパーティ夜間例会」 18:30 クレストンホテル